

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年3月7日

計画の名称: 自然環境と調和した、安心・安全な暮らしのできる山口市の実現
計画の期間: 平成22年度～平成26年度(5年間)
計画の目標: 下水道整備を行い、快適で衛生的な生活環境を形成するとともに、水害に強い都市をつくり、安心・安全な暮らしのできるまちの実現を図る。
定量的指標の達成状況: ①下水道処理人口普及率を57.9%(H22当初)から62.9%(H26末)に増加。

事後評価

実施体制・実施時期・事後評価
実施体制: 山口市社会資本整備総合交付金評価実施要綱に基づき、事後評価委員会を実施し、評価結果を踏まえ事後評価書を作成。
実施時期: 事業終了後
公表方法: 山口市ホームページに掲載

1. 交付金事業の進捗状況
全体事業費: 8,757百万円
交付金: 7,977百万円
効果促進事業費の割合: 8.9%

A 基礎事業
B 関連社会資本整備事業
C 効果促進事業
各表は事業番号、事業種別、地域種別、交付対象、直接開接、事業者、道路種別、省路工種、要素となる事業名、事業内容(延長・面積等)、市町村名、事業実施期間(H22-H26)、全体事業費(百万円)、備考を記載。

2. 事業効果の発現状況、目標の達成状況

I 定量的指標に関する交付対象事業の効果の発現状況
指標①は各処理区の幹線・枝線・面整備管の事業進捗により、処理区域が広がり、汚水を排除できる人口が増加することにより、下水道処理人口普及率向上に効果の発現があり、あわせて各浄化センターの増設・改築事業により増加した汚水を安定して処理することが可能となっている。

定量的指標の達成状況
指標① 下水道処理人口普及率
従前値: 57.9%
目標値: 62.9%
実績値: 63.1%

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況(必要に応じて記述)

3. 特記事項(今後の方針等)

・引続き次期整備計画において下水道整備を行うことにより、快適で衛生的な生活環境を形成し下水道処理人口普及率の増加を図る。

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

実績

計画の名称	自然環境と調和した、安心、安全な暮らしのできる山口市の実現	交付対象	山口市
計画の期間	平成22年度～平成26年度 (5年間)		

